

学校名 鹿児島市立平川小学校

項 目	活動内容等
<p>1 推薦機関が受賞候補校等を推薦する理由</p>	<p>昨年度まで、創意の時間の活動で、おやじの会に協力をもらいながら、10月に全校で学校近くの海岸に赴き「野外炊飯」活動を実施。(海岸の清掃活動を行い、拾った流木を燃料にして、飯ごうで炊飯し、給食室で調理したカレールウをかけて、カレーライスと一緒に食べる活動)</p> <p>今年度からは、清掃活動時間を1時間にするなど環境整備により重点を置き、10月「平川クリーン作戦」を実施予定。(海岸清掃に時間をかけるため、野外炊飯は実施しない)</p>
<p>2 受賞候補校等の活動状況等</p> <p>(1) 活動の動機・頻度</p> <p>① 活動を始めた動機及び開始年月</p> <p>② 活動の愛称名があれば記入して下さい</p> <p>③ 月間又は年間活動回数</p>	<p>平川小学校では、平成16年から平川海岸の清掃活動とそれに伴う野外炊飯活動を年1回、全学年で取り組んできた。</p> <p>この活動のねらいは、海岸清掃をすることで郷土の美しい海を未来に残そうとする心情や集めた流木等を燃料にすることで、エコにも目を向けさせ、進んで生活に生かそうとする意欲を高めるためである。今年度は、昨年度までの反省を生かし、美しい自然を大切にしようとする児童を育てるために、環境整備に重点を置いた活動に変更する予定である。</p> <p>平川クリーン作戦</p> <p>年1回 2単位時間(10月上旬実施)</p>

項 目	活動内容等
④ 活動のエリア	平川サンライズマリーナ近くの海岸
⑤ 活動1回当たりの平均参加者数	全校児童（94名）、教職員（13名）、保護者（10名程度）
⑥ 活動1回当たりの平均時間	90分程度
⑦ 収集物の処理	鹿児島市のごみ分別の決まりに従い、分別しながらごみ拾いを行う。収集したごみは学校に持ち帰り、分別されているか確認した後、ゴミ出しの日に処分する。
(2) 活動の独創性 活動の特徴	本校の環境教育の一環として、創意の時間（1時間）と学校行事（1時間）で実施している。 全校児童を縦割り班に分け、児童同士が協力して海岸清掃活動を進めていく。
(3) 地域への貢献度	
① 地域の環境美化への貢献	年1回の実施であるが、地元の美しい平川海岸の環境を守っていきたいという意識は高まってきている。
② 地域住民との協力活動	保護者を中心に、清掃活動への参加を呼びかける。
③ 児童・生徒の活動に対する地域住民の反応	地域住民も平川海岸に対して深い愛情をもっており、平川小児童が平川海岸を清掃することに対して大変好意的で理解も得られている。

項 目	活動内容等
(4) 環境教育との関連 ① 環境教育と活動との結びつき	「人や自然への思いやりの心もち、よりよい環境づくりに積極的に関わろうとする子供を育成する。」という環境教育目標を掲げ、特に総合的な学習の時間や創意の時間において、環境教育に関する学習の場として、地域の自然に親しむ体験的活動を推進し、自然とふれあい、自然を愛護し、郷土の文化財なども大切にしようとする実践力の育成を図っている。
② 活動開始後の児童・生徒の美化意識の変化	平川小校区の美しい自然環境の一つである、学校近隣の海岸にいろいろな種類のごみが打ち上げられていることを知り、そのごみを拾って環境美化に対する意識を高めている。特に上学年においては、この海岸清掃活動のほかに、奉仕活動・ボランティア活動に積極的に関わろうとする児童が増えてきている。
③ 当該活動以外の環境教育実践活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4校（錦江湾高校、福平中学校、福平小学校、平川小学校）PTA合同奉仕作業による、通学路及び五位野駅、平川駅周辺、平川ヨットハーバーの清掃活動</li> <li>・ 総合的な学習の時間でのびわの栽培と収穫（3・4年生）</li> <li>・ 総合的な学習の時間での環境問題学習（3～5年） 3年：動物と環境、4年：ごみのない世界へ（ごみの3R教室実施）、5年：環境問題について考えよう。（ダンボールコンポストへの取組）</li> <li>・ 漁業の観点から錦江湾の自然について学ぶ魚食推進事業（5・6年児童によるヒラメの稚魚放流体験）</li> <li>・ 学校版環境ISO活動</li> <li>・ 飼育栽培委員会による植物の栽培活動、児童集会での3R運動の啓発、節電・節水の呼びかけ（使用量を棒グラフで表し、環境コーナーに表示）</li> <li>・ 環境チェックカードによる毎月の反省（15項目）と次月の目標を放送で周知</li> <li>・ 一人一鉢活動での全校児童による栽培活動</li> </ul>
(5) 当該活動で他の表彰を受けたことがありますか (受賞年月日と表彰機関名)	なし

<p>(6) 校内外活動のための時間の作り方</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校時表運用の工夫（時間割を弾力的に）</li> <li>・委員会活動の時間で準備等を行う。</li> <li>・総合的な学習の時間や創意の時間</li> <li>・始業前の15分間を学級で活用している。（準備、振り返り等）</li> </ul>
<p>3 その他特記事項</p>	<p>なし</p>

## 飯ごう炊飯

令和5年10月12日(木)に平川サンライズマリーナで、全校児童が海岸清掃と野外炊飯活動を実施しました。当日は、「おやじの会」の皆様も協力してくださいました。

まず、海岸に落ちている流木を集めました。海岸には多くの流木が流れ着いて、みんなで協力して集めました。流木のほかにもさまざまな種類のごみが散乱しているところもあり、分別しながら清掃作業を行いました。集めた流木は飯ごう炊飯の薪になるので、かまどを設置する場所に集めておきます。

次に、ブロックを置き、その上に金網を載せます。そして、海岸に落ちている大きな石を集め、反対側に積んでかまどをつくりました。かまどが完成したら、集めた流木を薪にして火を付けました。めらめらと燃え上がる炎をみながら飯ごうをセットしました。

最後に、給食室で作ってもらったカレールウをかけて、おいしくいただきました。

海岸清掃で平川の海岸の環境整備を行い、出たごみを燃料として活用し、食事をつくるエコ活動を通して、錦江湾や豊かな自然と関わり、これからも豊かな自然環境を大切にしていきたいという思いを一層強くすることができた時間となりました。



海岸に落ちているごみを全員で協力しながら拾います。その中の、流木が飯ごう炊飯の薪となるので、かまどの近くに積んでおきます。



ブロックに金網を置き、石を積んだらかまどの完成です。集めた流木を小さい順にセットして火を付けます。勢いよく燃える流木。拾ったごみのご飯を炊く材料となりました。



おいしそうなご飯が炊きあがりしました。給食室から運ばれたとんかつとカレールウをかけて、カツカレーの出来上がり。平川の海や桜島を見ながらおいしくいただきました。

※ 今年度からは平川海岸の清掃活動に重点を置いた活動「平川クリーン作戦」を実施するため、飯ごう炊飯は実施しません。